

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	交通安全施設整備事業			会計	款	項	目	大	小
政 策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	道路管理課				
施 策	2-4	日常生活での安全性と快適性の確保		主管課長	鈴木 和男				

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市道における交通安全施設の新設及び補修を要する箇所	意図	交通安全施設等の整備により、交差点等の安全を確保し、また、道路照明灯等により夜間の安全確保を図り危険を回避する。
事業内容	・市道の危険箇所における道路照明、道路反射鏡、区画線、道路標識等の交通安全施設等（交通安全施設等整備事業に関する緊急措置法第2条第3項第2号口に掲げる二種事業が中心）の設置及び補修工事の実施による安全な交通環境の維持、改善により交通事故等の防止を図る。			
事業開始から現在までの状況変化	・交通安全施設整備事業に関する緊急措置の施行（昭和41年4月1日）により開始。交通事故の最大要因は、歩道と車道の分離等、ハード面の整備に時間を要していることが原因となっている。しかし、交差点の改良等には、なお、時間を要するため、既存道路網での安全向上が今後とも必要となる。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		道路照明設置	1	1	1	基	
	道路反射鏡設置（業者）	3	10	14	基		
	道路反射鏡設置（機動班）	16	11	19	基		
	ゾーン30整備			2	箇所		
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・安全施設については、自治会等の要望を基に設置しているが、その効果について十分検討し、対応することが必要である。
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		35,366,650	40,003,800	85,472,460			
事業費（b）（円）		28,564,550	31,881,600	82,221,860			
うち一般財源		28,564,550	31,881,600	60,621,860			
職員給与費(c)(円)		6,802,100	8,122,200	3,250,600			
人役・職員(人)		0.70	0.90	0.40			
人役・再任用(人)		0.80	0.80	0.10			
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト（円）（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	継 続 （事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H27)の改善計画	・自治会、地元住民及び関係団体からの情報をもとに、交通安全施設等の整備を迅速に行う。また、庁内の各課に対しても広く情報提供を求める。	取組の課題	・危険箇所に対して、迅速かつ効果的な交通安全施設等の整備の実施が要求される。
今年度(H27)に実施した取組	・道路附属物（道路照明灯）の点検業務を実施し、適切な維持管理に努めた。また、自治会、地元住民、警察等関係機関と調整し、車両進入の抑止、走行速度の抑止を目的としたゾーン30整備を行った。	今後の改善計画	・自治会、地元住民及び関係団体と連携を綿密に行うとともに、交通環境の改善を行い、交通事故の防止、交通の円滑化を図る。